

ハブ情報

発行：ハブ対策推進協議会
〔事務局：名瀬保健所 衛生・環境室〕



9月の咬傷者は奄美大島で2名、徳之島で4名の合計6名でした。

咬傷場所は、奄美市が1名、瀬戸内町が1名、天城町が2名で、伊仙町が2名です。その内訳は、ハブ取扱中が2名、草刈り中・炊事中・歩行中・その他が各1名でした。

夏の猛暑に比べてハブが活動しやすい気温となり、咬傷事故が増加しています。

ハブは温度を感知する器官を持っており、周りが暗くても人などに反応します。

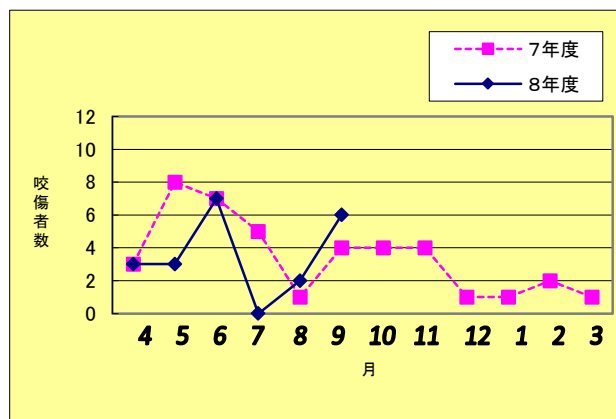
夜間出歩く際は、懐中電灯等を持ってハブを発見しやすいようにしましょう。

●群島全体のハブ咬傷者数

※ () 内は前年同月比

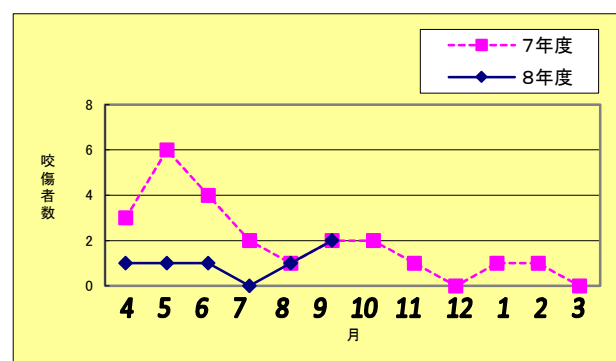
累計は令和8年4月から

地区別	9 月	累計
奄美大島	2 (± 0)	6 (- 12)
徳之島	4 (+ 2)	15 (+ 5)
計	6 (+ 2)	21 (- 7)



●奄美大島のハブ咬傷者数

市町村	9 月	累計
奄美市	1 (+ 1)	2 (- 7)
大和村	0 (± 0)	1 (± 0)
宇検村	0 (- 1)	1 (- 1)
瀬戸内町	1 (± 0)	2 (- 3)
龍郷町	0 (± 0)	0 (- 1)
計	2 (± 0)	6 (- 12)



●徳之島のハブ咬傷者数

市町村	9 月	累計
徳之島町	0 (± 0)	3 (- 1)
天城町	2 (+ 2)	5 (+ 3)
伊仙町	2 (± 0)	7 (+ 3)
計	4 (+ 2)	15 (+ 5)

